



発行機関：熊本県中央家畜保健衛生所 住所：熊本市南城区南町沈目1666-1  
 TEL：0964-28-6021  
 E-mail：chuuoukaho@pref.kumamoto.lg.jp  
 HP address：https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/78/60183.html

## 熊本県南関町で高病原性鳥インフルエンザが発生しました

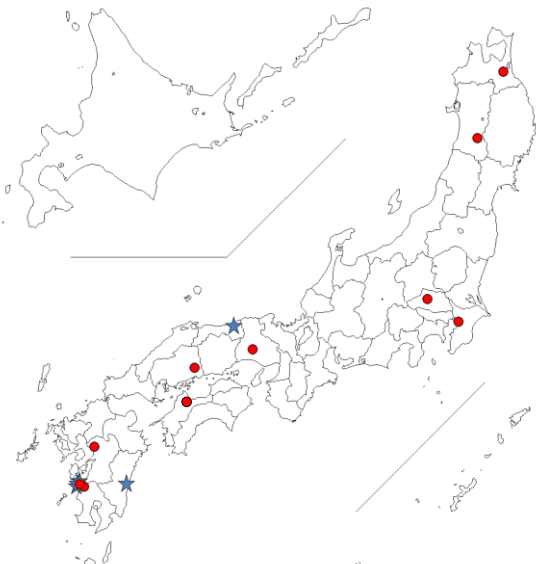
令和3年12月3日に熊本県南関町の肉用鶏農場において、高病原性鳥インフルエンザが発生しました。迅速な防疫対応により、12月5日には防疫措置が完了するとともに、防疫措置完了10日後に実施した検査でも異状が認められなかったことから、12月27日午前0時に移動制限が解除されました。

1月4日現在、国内の家きんでは9県10事例が確認され、約60万羽が殺処分されています。一方、野鳥においては、本病ウイルスが3県8例が確認されています。昨シーズンに引き続き、全国的に発生リスクが高くなっていますので、家きん飼養者におかれましては、飼養衛生管理基準の遵守徹底による農場へのウイルス侵入防止対策の強化とともに、早期発見・早期通報への御協力をお願いします。

### ○家きん 9県10事例 羽数の単位は万羽

地域	疑似患者判定日	用途	羽数(万羽)	病原性※	亜型
1 秋田県横手市	11月10日	採卵鶏	約14.3	HPAI	H5N8
2 鹿児島県出水市	11月13日	採卵鶏	約3.8	HPAI	H5N1
3 鹿児島県出水市	11月15日	採卵鶏	約1.1	HPAI	H5N8
4 兵庫県姫路市	11月17日	採卵鶏	約15.5	HPAI	H5N1
5 熊本県南関町	12月3日	肉用鶏	約6.7	HPAI	H5N1
6 千葉県市川市	12月5日	あひる(アイガモ)	約0.03	HPAI	H5N1
7 埼玉県美里町	12月7日	採卵鶏	約1.7	HPAI	H5N1
8 広島県福山市	12月7日	採卵鶏	約3.0	HPAI	H5N1
9 青森県三戸町	12月12日	肉用種鶏	約0.7	HPAI	H5N1
10 愛媛県西条市	12月31日	採卵鶏	約13	検査中	

※令和4年1月4日時点



### ○野鳥 9事例 (HPAIに限る)

※詳細は環境省[https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/](https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

検体回収場所	検体回収日	種名	病原性	亜型
1 北海道旭川市	10/26	マガモ	LPAI	H5N3
2 鹿児島県出水市	11/8	環境試料(水)	HPAI	H5
3 宮崎県宮崎市	11/9	糞便	HPAI	H5N1
4 鹿児島県出水市	11/19	ナベヅル	HPAI	H5N8
5 鹿児島県出水市	11/22	環境試料(水)	HPAI	H5N8
6 鹿児島県出水市	11/22	環境試料(水)	HPAI	H5N8
7 鹿児島県出水市	12/3	マガモ	ウイルス分離陰性	-
8 鹿児島県出水市	11/29	環境試料(水)	HPAI	H5N8
9 鳥取県鳥取市	12/1	環境試料(水)	HPAI	H5N8
10 鳥取県鳥取市	12/1	糞便	LPAI	H7N7
11 鹿児島県出水市	12/10	オナガガモ	ウイルス分離陰性	-
12 鹿児島県出水市	12/6	環境試料(水)	HPAI	H5N8
13 福井県若狭町・美浜町	11/25	野鳥糞便	LPAI	H7N7
14 石川県内灘町	12/3	野鳥糞便	LPAI	H5
15 鹿児島県出水市	12/20	環境試料(水)	HPAI	H5N1

※ HPAI:高病原性鳥インフルエンザ  
 LPAI:低病原性鳥インフルエンザ  
 黒塗りはLPAIまたはウイルス分離陰性

●家きん  
 ★野鳥 (HPAIに限る)

## 鳥インフルエンザに関する食品安全委員会の考え方

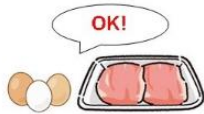
【食品安全委員会HPより抜粋】



食品安全委員会は、我が国の現状において、**鶏肉や鶏卵等を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザに感染する可能性はない**と考えています。



鳥インフルエンザの感染が疑われる鶏等の肉や卵が流通することはありません。



鳥とヒトでは細胞表面にあるウイルスの受け皿の形が違います。



適切な加熱調理や胃酸によってウイルスは死滅します。



# 飼養衛生管理マニュアルの作成について

令和2年7月に飼養衛生管理基準が改正され、豚飼養農場においては同年7月まで、**豚以外の家畜飼養農場においては令和4年2月までに農場毎の飼養衛生管理マニュアルを作成することとなっています。**

つきましては、獣医師等の専門家の意見を反映させながら、家畜の所有者、従業員、外部事業者等、農場に立ち入る全ての者が適切に作業できる実効性のあるマニュアルの作成をお願いいたします。不明な点は当所までお問い合わせください。

また、農場に立ち入る者がマニュアルの項目を遵守するよう、印字したマニュアルの掲示や、冊子の配布等の措置も併せてお願いいたします。

## 【飼養衛生管理マニュアルで規定する事項】

- (1) 従事者が当該農場以外で行う動物の飼養及び狩猟における禁止事項
- (2) 海外渡航時及び帰国後の注意事項
- (3) 海外からの肉製品の持込み（郵便物による持込みを含む。）に関する注意喚起
- (4) 農場内への不適切な物品の持込みの禁止
- (5) 可能な限り、工具、機材等を農場内へ持ち込まないための取組
- (6) 持ち込む工具、機材、食品等の取扱い
- (7) 猫等の愛玩動物の衛生管理区域内での飼育禁止
- (8) 野生動物の衛生管理区域内への侵入防止
- (9) 農場における防疫のための更衣
- (10) 手指、衣服、靴、物品、車両、施設等の洗浄及び消毒に関する具体的な方法、消毒薬の種類、作用時間及び乾燥時間等

## 海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	韓国	家さん	令和3年12月23日
			野鳥	令和3年12月7日
	H5N2 H5N5	台湾	野鳥	令和3年12月15日
		ロシア	家さん	令和3年12月10日
		台湾	家さん	令和3年12月14日 令和3年12月16日
アフリカ豚熱 (ASF)		中国	豚	令和3年12月12日
		韓国	野生イノシシ	令和3年12月22日
		マレーシア	野生イノシシ	令和3年12月1日
		ロシア	野生イノシシ	令和3年12月13日

令和4年(2022年)1月1日現在



毎月**20日**はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう！

